

小中高生の家庭の新年の目標・抱負に関する調査

保護者9割 子どもの目標・抱負達成のために「助言・手助け」

「子どもが目標・抱負のために努力していた」9割超

株式会社増進会ホールディングス（Ｚ会グループ）のグループ会社、株式会社栄光（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：下田勝昭）が運営する進学塾・栄光ゼミナールは、2025年11月8日（土）～11月18日（火）に、「小中高生の家庭の新年の目標・抱負に関する調査」を実施し、小学1年生～高校3年生の子どもを持つ保護者1836人の有効回答が得られました。

- 2025年の子どもの目標・抱負は、「学習」「受験」に関するものが中心
小学生は「習い事・趣味」、中学生・高校生は「資格試験」「部活動」も多い傾向
- 保護者の9割超 「子どもは目標・抱負を達成するために努力していた」
- 子どもが目標・抱負を決める際に気にかけたいこと 「子ども自身が主体的に決めること」
- 保護者の約9割が、子どもの目標・抱負達成のために「助言や手助けをしたことがある」
サポート内容は「褒める・励ます」が最多

栄光ゼミナール調べ

<調査概要>

調査対象：栄光の教室に通う小学1年生～高校3年生の子どもを持つ保護者

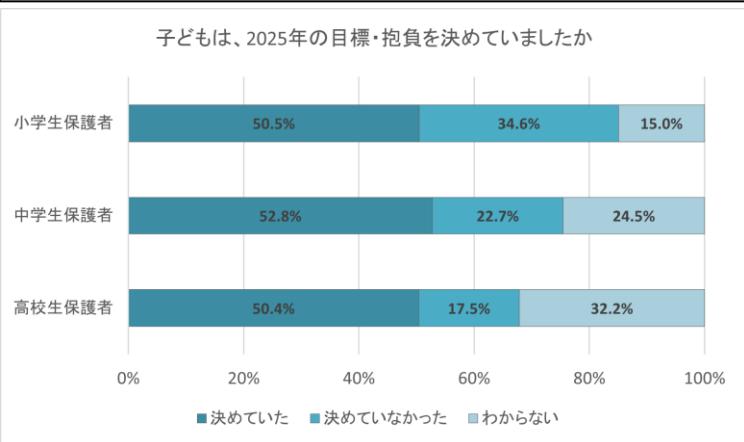
調査方法：インターネット調査

調査期間：2025年11月8日（土）～11月18日（火）

回答者数：1836人（小学生保護者842人、中学生保護者599人、高校生保護者395人）

子どもは、2025年の目標・抱負を決めていましたか。

n=1836（小学生保護者 842、中学生保護者 599、高校生保護者 395）、単一回答方式

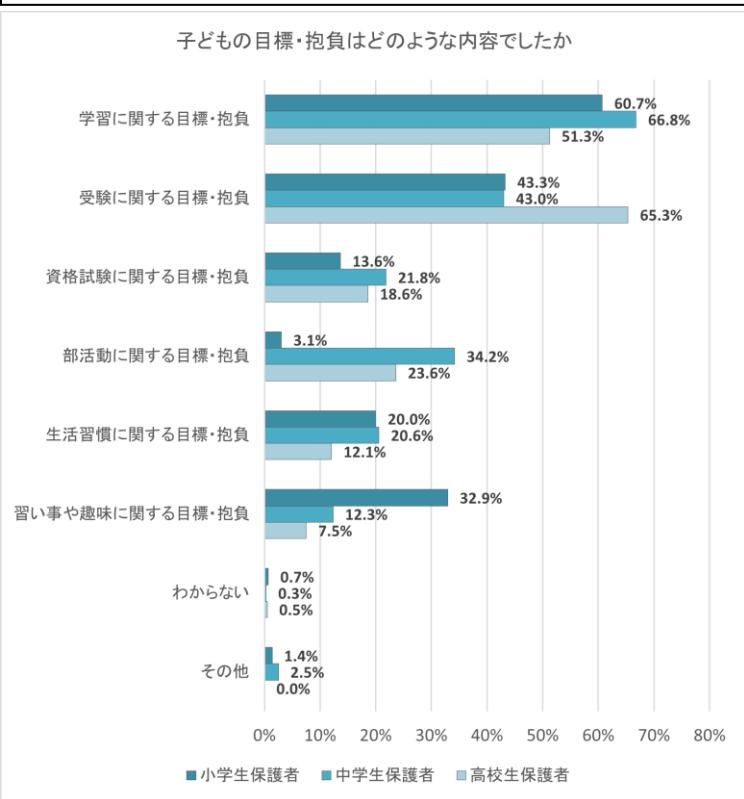


小学1年生から高校3年生の子どもがいる保護者に、子どもが2025年の目標・抱負を決めていたかを聞いた。

小学生保護者の50.5%、中学生保護者の52.8%、高校生保護者の50.4%が、子どもが2025年の目標・抱負を「決めていた」と回答した。また、子どもの年齢が上がるにつれ、「わからない」の回答が増える傾向があった。

子どもの目標・抱負はどのような内容でしたか。

n=940（小学生保護者 425、中学生保護者 316、高校生保護者 199）、総回答数 1740、複数回答方式（あてはまるものすべて）



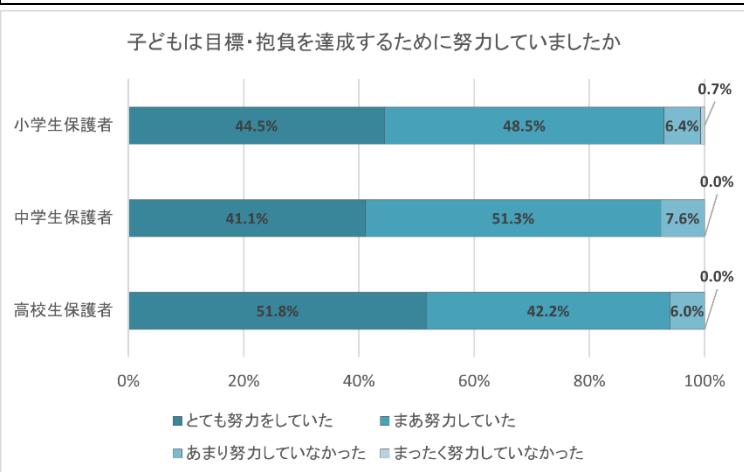
子どもが「2025年の目標・抱負を決めていた」と回答した保護者に、子どもの目標・抱負がどのような内容だったかを聞いた。

小学生保護者・中学生保護者で最も割合が高かったのは「学習に関する目標・抱負」で、小学生保護者の60.7%、中学生保護者の66.8%だった。高校生保護者で最も多かったのは「受験に関する目標・抱負」で65.3%にのぼったが、「学習に関する目標・抱負」も半数以上だった。2024年に実施した調査でも同様の傾向が見られ、大きな変化はなかった。

また、小学生保護者は「習い事や趣味に関する目標・抱負」が、中学生保護者では「部活動に関する目標・抱負」が、それぞれ他よりも高い傾向にあることが分かった。

子どもは目標・抱負を達成するために努力していましたか。

n=933（小学生保護者 351、中学生保護者 355、高校生保護者 227）、単一回答方式



子どもが「2025年の目標・抱負を決めていた」と回答した保護者に、子どもが目標・抱負を達成するために努力していたかを聞いた。

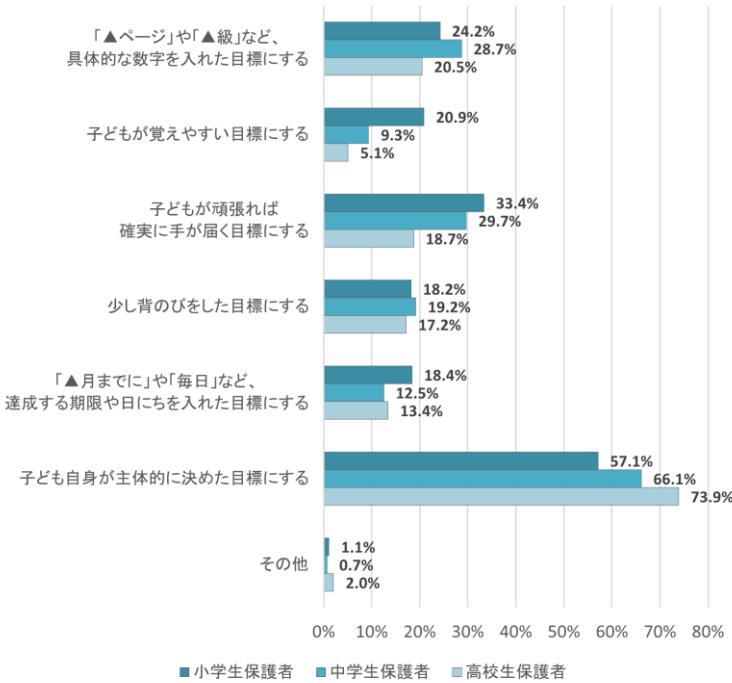
小学生保護者・中学生保護者・高校生保護者いずれも、9割以上が「とても努力していた」「まあ努力していた」と回答した。特に高校生保護者では「とても努力していた」と回答した割合は半数以上にのぼり、保護者が子どもの努力を高く評価していることが分かった。

子どもが目標・抱負を決める際、どのように気を付けていますか。

あるいは、今後子どもが目標・抱負を決めるとしたら、どのように気を付けたいですか。

n=1836（小学生保護者 842、中学生保護者 599、高校生保護者 395）、総回答数 3171、複数回答方式（あてはまるものすべて）

子どもが目標・抱負を決める際、どのように気を付けていますか
か。あるいは、今後子どもが目標・抱負を決めるとしたら、どのように
ことに気を付けたいですか



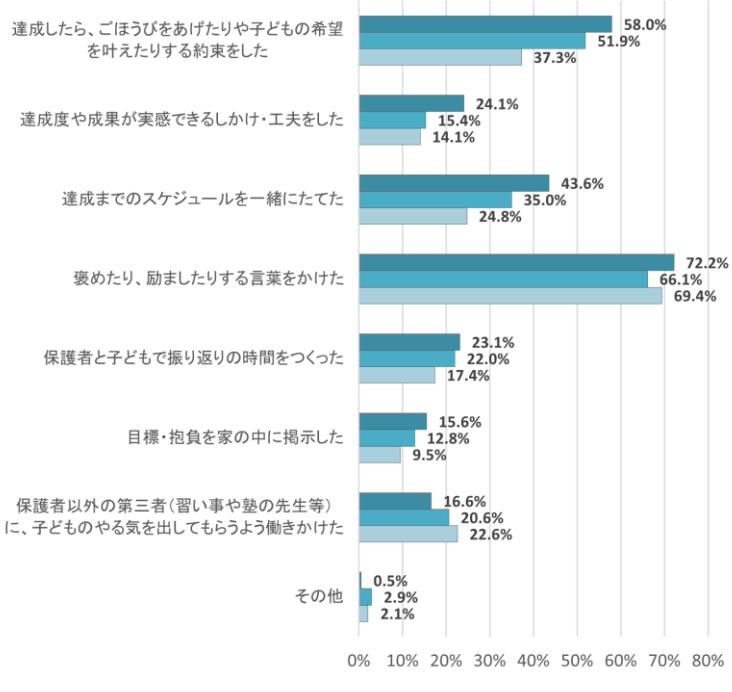
子どもが目標・抱負を決める際に気を付けていたこと、または今後
気を付けたいことを保護者に聞いた。最も多かったのは、小学生保
護者・中学生保護者・高校生保護者いずれも、「子ども自身が主
体的に決めた目標にする」で、小学生保護者の 57.1%、中学生
保護者の 66.1%、高校生保護者の 73.9%だった。

子どもが主体的に目標・抱負を決めることが、子ども自身が目標
達成のために努力するモチベーションになる、と考える保護者が少
なくないと考えられる。

子どもが目標・抱負を達成するために、どのような助言や手助けをしましたか。

n=1672（小学生保護者 638、中学生保護者 665、高校生保護者 369）、総回答数 3858、複数回答方式（あてはまるものすべて）

子どもが目標・抱負を達成するために、
どのような助言や手助けをしましたか

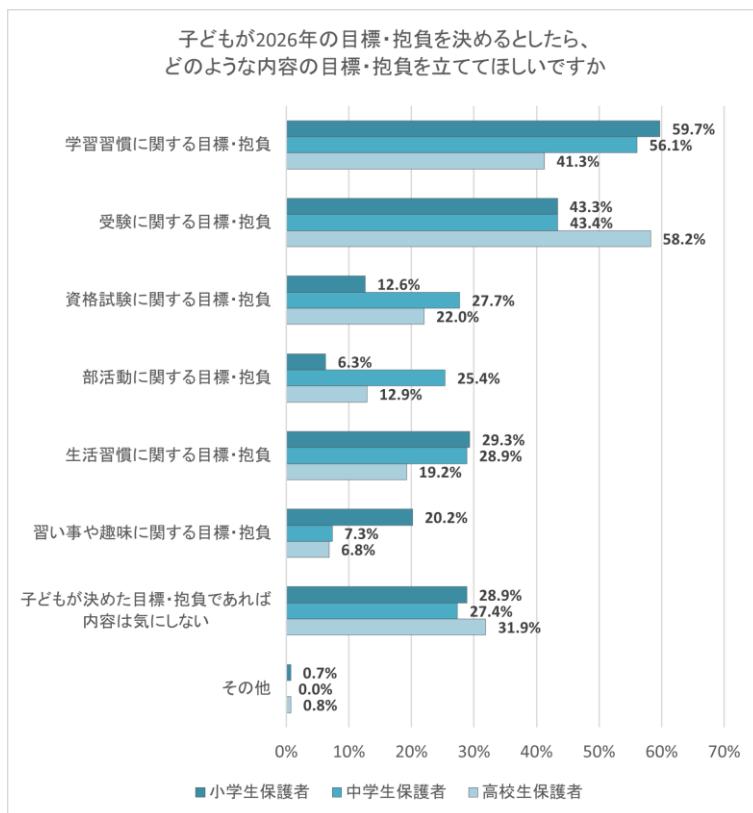


子どもが目標・抱負を達成するために、保護者自身が助言や手
助けをした経験があるかを聞いた。小学生保護者の 89.3%、中
学生保護者の 85.8%、高校生保護者の 82.8%が「助言や手
助けをしたことがある」と回答した。

次に、どのような助言や手助けをしたかを聞いたところ、小学生保
護者・中学生保護者・高校生保護者いずれも「褒めたり、励まし
たりする言葉をかけた」が最も多く、小学生保護者の 72.2%、中
学生保護者の 66.1%、高校生保護者の 69.4%にのぼった。
また、小学生保護者では「達成したら、ごほうびをあげたり子どもの
希望を叶えたりする約束をした」「達成までのスケジュールを一
緒にたてた」という保護者も多かった。

子どもが 2026 年の目標・抱負を決めるしたら、どのような内容の目標・抱負を立ててほしいですか。

n=1836 (小学生保護者 842、中学生保護者 599、高校生保護者 395)、総回答数 3932、複数回答方式 (あてはまるものすべて)



保護者に、子どもが 2026 年の目標・抱負を立てるしたら、どのような内容を立ててほしいかを聞いた。小学生保護者・中学生保護者で最も多かったのは「学習習慣に関する目標・抱負」、高校生保護者で最も多かったのは「受験に関する目標・抱負」だった。また、小学生保護者・中学生保護者・高校生保護者いずれも約 3 割が「子どもが決めた目標・抱負であれば内容は気にしない」と回答した。

目標・抱負を達成するため子どもの具体的な努力や達成までの苦労エピソード、保護者のおすすめのサポート方法などが

ありましたら、教えてください。

自由記述方式

- ・Excel で「横の列が日付、縦の列がやること」の表を作り、白い丸を書いて、できたら黒丸にする、というのをやりました。視覚化することで、できている・できていないが、親にも子どもにもわかるためとてもよかったです。（小学 2 年生保護者）
- ・子どもが自分で立てた学習計画を付箋に書いて勉強机に貼っている。付箋に書いた内容の学習が終わったら付箋を剥がす。学習予定の付箋がなくなったら自由時間にする。（小学 3 年生保護者）
- ・子どもの目標と対になるようなものを自分にも設定する。例えば、月に 10 冊本を読むと決めたら、保護者も同じ冊数を読む。受験勉強のとなりで資格勉強をする等。一緒に頑張ろうと声をかけた。親の背中で示せるように意識した。（小学 5 年生保護者）
- ・いつも目標を意識できる状態が望ましいので、リビングに掲示して常に見られる環境にしています（中学 1 年生保護者）
- ・親の口出しを嫌がるタイプのため、ほぼ本人に任せています。幸い、やるべき時は自ら意欲的に取り組んでくれます。親としては控えめな激励を心がけ、良好な結果が出た時は思いきり褒めることにしています。（中学 2 年生保護者）
- ・小学 4 年生のとき、珠算 1 級に不合格になり、泣きながら弾いていた。何も言わなくても自ら毎日タイムを計り頑張っていた。小学 4 年生の終わり、無事に合格。嬉しそうな顔が忘れられない。その時にこの子は自分のために努力できる子だと確信した。失敗は成功のもと、これから的人生も前向きにしてほしいと思います。（中学 3 年生保護者）
- ・将来に向けて時間の使い方で優先するものは何かを、スケジュール表で計画するように促し、保護者も共有している。（高校 1 年生保護者）
- ・子どもは目標と気持ちが合致するとストイックに頑張るタイプなので、詰め込みすぎて生活リズムや健康管理（特に食事と睡眠）のサポートに苦戦しました。目標の内容については、自分で突き進んでいくので、励ましたり応援したりするのみでした。（高校 2 年生保護者）
- ・子どもからの希望で、声をかけてほしいと言われています。自身でどうしてもエンジンがかけられない時、声かけサポートが必要とのことなので、前向きな言葉をかけるようにしています。（高校 3 年生保護者）
- ・小学生のときは、例えば夏休みの数日前に学習計画を親子で一緒に立て、初日からスムーズに行動できるようにしていました。中学生からは、事前に声をかけて自分で計画させるようにしました。高校生になつたら、声をかけなくとも自分で計画を立てるようになりました。ただし、計画が途中で挫折すると放置してしまうこともあるようなので、進捗はどうなの？と聞いて、うまくいかないようなら計画の見直しをするように声かけしています。こうやって書き出してみて気づいたのですが、私は仕事におけるプロジェクトリーダーのような役割をしていたように思います。（高校 3 年生保護者）

会社概要

中学受験、高校受験対策の進学塾「栄光ゼミナール」や個別指導で目標達成へ導く学習塾「栄光の個別ビザビ」、大学受験対策塾「大学受験ナビオ」等を、首都圏を中心に展開、国内屈指の規模を持つ進学塾として多くの塾生をお預かりしています。2021年7月には中学・高校・大学受験対策のオンライン進学塾「EIKOH LiNKSTUDY」を開講。生徒の学ぶ意欲を引き出し、自ら学ぶ姿勢を育てることで、中学受験・高校受験・大学受験の合格へ導き、生徒・保護者の期待に全力で応えていきます。

また、科学実験専門教室やロボット・プログラミング教室のＳＴＥＭ教育事業も行っています。

本社： 東京都千代田区富士見二丁目 11 番 11 号

代表： 代表取締役社長 下田勝昭

設立： 1980 年 7 月

本件に関する問い合わせ

株式会社 Z 会ホールディングス 広報 渡辺・大竹

電話：03-5275-1685 Fax : 03-5275-1678 メールアドレス：proffice@zkai-hd.co.jp